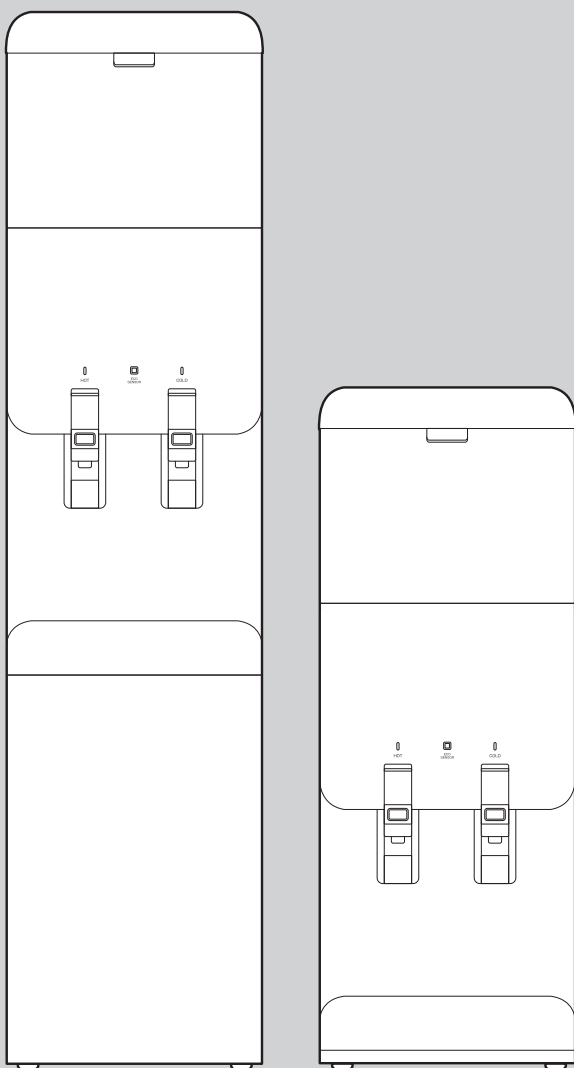


HOT/COLDウォーターサーバー 取扱説明書



■安全上の注意	2
■各部のなまえ・はたらき	4
■設置場所について	6
■初期設置の手順	7
■ウォーターパック交換方法	10
■アタッチメント・ニードル配管お手入れ方法	12
■日常のお手入れの仕方	14
■おいしく飲んでいただくために	15
■長期間使用しない時や引っ越しの時	16
■仕様／故障かな？と思ったら	17

本取扱説明書は事故を防ぐための注意事項と
製品の取り扱い方を記載しております。

ご使用前に必ず本書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。お読みになったあとは
いつでも見られる所に保管してください。

型式 WFD-1040

安全上の注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。本文中の「図記号」の意味は次の通りです。



「禁止」を示します。



「必ず守っていただく行為」を示します。



「電源プラグを必ずコンセントから抜いてください」を示します。



「ふれないでください」を示します。



「分解しないでください」を示します。



「アース設置」を示します。

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据え付け上の注意事項



警告

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



厳守

■床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

■**たこ足配線をしないでください。**定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



禁止

■水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けしないでください。

漏電により、感電や火災の原因になることがあります。



アース設置

■アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。

アース工事は、最寄りの電気工事に依頼してください。



注意

誤った取り扱いをした時に、状況によっては
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



禁止

■ストーブやコンロ横など、油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しないでください。

万一漏れてウォーターサーバーの周辺に溜ると、発火の原因になることがあります。

使用上の注意事項



警告

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



禁止

■電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になることがあります。

■電源プラグをウォーターサーバーの背面で押し付けしないでください。

電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。

■濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

■本体に水をかけないでください。電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。

■定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。

■ウォーターサーバーの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。転倒・落下によりケガや破損の原因になることがあります。



厳守

■電源プラグはコンセントにプラグの根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。

異常発熱や火災の原因になることがあります。

■製品は室内用ですので室外には設置しないでください。



禁止

■可燃性スプレーを近くで使わないでください。電気接点のスパークで引火するおそれがあります。

■温水運転時は子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わせないでください。

やけどをするおそれがあります。

■水の入っていない状態でHOTスイッチを入れしないでください。安全装置がはたらきHOTスイッチが自動的に切れ、作動しなくなります。

■転倒させないでください。お湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

■傾けたり、ゆすったり、お湯を入れたままで移動しないでください。お湯が流れ出てやけどやケガをするおそれがあります。



- 可燃性ガスなどのガス漏れがあった時には、ウォーターサーバーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。引火爆発し、火災ややけどの原因になることがあります。



プラグを抜く

- 焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに運転を停止して、電源プラグを抜き、当社お客様センターにご相談ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

**警告**

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



接触禁止

- 給湯時や排水時に温水に手を触れないでください。熱湯により、やけどをするおそれがあります。
- 運転時に、サーバー背面の放熱パネルなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

**注意**

誤った取り扱いをした時に、状況によっては
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 当社製品以外の飲料は入れないでください。機械の故障をまねいたり、水質が劣化する場合があります。



厳守

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



厳守

- 長期間（2週間以上）ご使用にならない時は、必ず、冷水・温水とも排水し、電源プラグをコンセントから抜いてください。水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

修理時の注意事項**警告**

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の
重大な事故に結びつく可能性が大きいもの



分解禁止

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作して、ケガをすることがあります。

各部のなまえ・はたらき

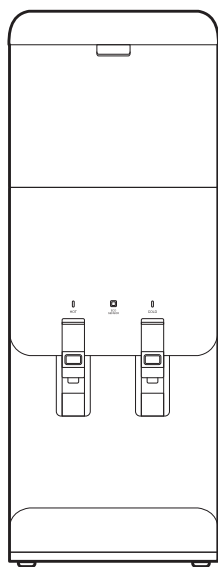
〈ウォーターサーバー 正面〉

ECO センサー

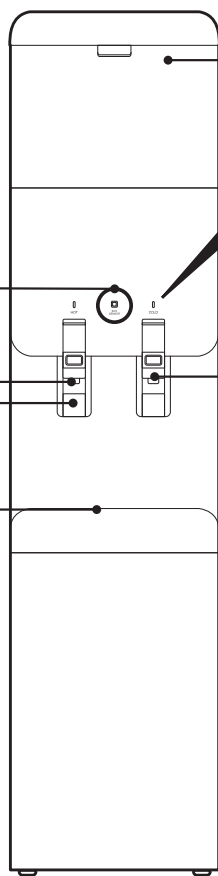
背面のECOスイッチを“ON”にすると光を感知し、室内が暗くなるとECOモードになります。

クリーンキャップ

コックの衛生を守ります。(定期的に取り外してお手入れしてください) (▶P.14)



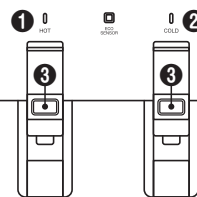
卓上タイプ (S)



床置タイプ (L)

ホルダー

内部にウォーターパックを収納します。



① HOTランプ

背面のHOTスイッチを「ON」にすると赤色に点灯します。

② COLDランプ

電源プラグをコンセントに差し込むと緑色に点灯します。

③ ロック解除ボタン

ボタンを押しながらレバーを押すと冷水・温水が出てきます。

温水レバー

ロックを解除し、レバーを押すと温水コックから温水が出てきます。

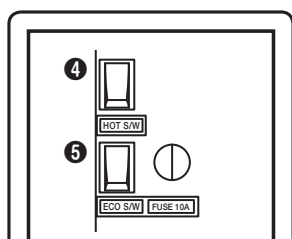
ドリフトトレイ

漏れた水を受けます。手前に引くと取り外しができます。(定期的にお手入れください) (▶P.14)

冷水レバー

ロックを解除し、レバーを押すと冷水コックから冷水が出てきます。

〈ウォーターサーバー 背面〉



④ HOTスイッチ

電源プラグをコンセントに差し込んだ後、スイッチを「ON」にします。

⑤ ECOスイッチ

ECOセンサーのON/OFFを切り替えます。HOTスイッチが「ON」の状態ではECOスイッチを「ON」にするとHOTランプがオレンジ色に点灯します。室内が暗くなるとHOTランプが緑色に点灯してECOモードになります。
※ECOモード中は、温水の温度が下がります。

電源プラグ

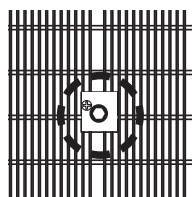
コンセントに差し込むと、冷却機能が作動します。

転倒防止ワイヤー

本体転倒防止用ワイヤーです。
(必要に応じてご使用ください)

排水キャップ(黄色)

温水タンクの排水口です。※「長期間使用しないとき」のみに使用します。



放熱パネル

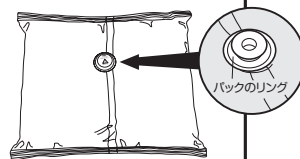
冷却運転中は熱くなりますが、故障ではありません。手や物が触れないように注意してください。

アース

故障や漏電のとき感電を防止します。

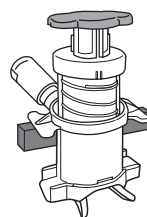
別送

ウォーターパック (リング付き)



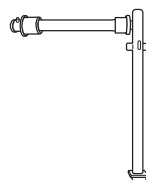
アタッチメント

ウォーターパックに取り付けて使用します。



ニードル配管

アタッチメントに取り付けて使用します。



ストッパー

ニードル配管を固定するのに取り付けます。



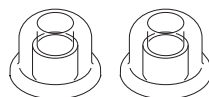
チャイルドロックカバー

温水コックの解除ボタンに取り付け付けます。
※別紙取り付け方法参照



クリーンキャップ

コックの出水口に取り付け付けます。
※別紙取り付け方法参照



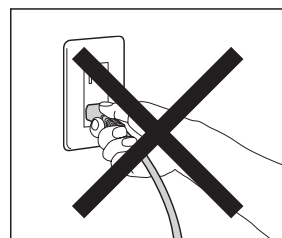
各部のなまえ・はたらき

設置場所について

⚠ 厳守

●手順8まで電源プラグは 差さないでください。

※給水前に電源プラグを入れると空焚きの原因になります。

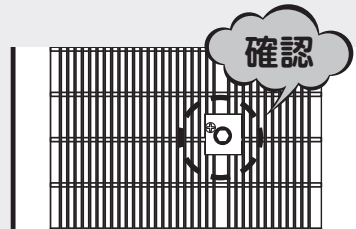


設置場所について

1 排水キャップの確認

輸送中に背面の排水キャップがゆるむことがあります。
しっかりと締まっているかご確認ください。

※ゆるんでいると水漏れの原因になります。

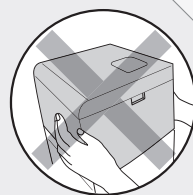
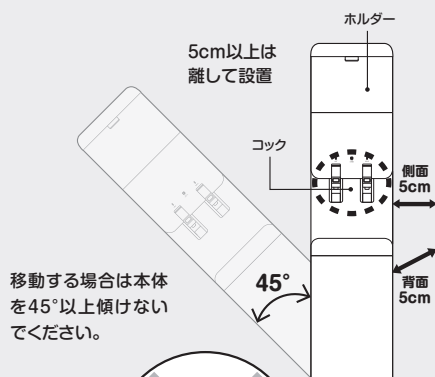


2 設置場所

- ① 放熱パネルが高温になるため壁や家具から背面および左右側面を、5cm以上離して設置してください。
- ② 必ず安定した平らな場所に設置してください。
- ③ 寝室など音が気になる場所に設置しないでください。
- ④ 直射日光のあたる場所、ヒーターやストーブなどの高温になる場所、湿度の高い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- ⑤ 室内用ですので、室外には設置しないでください。

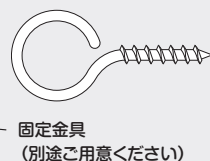
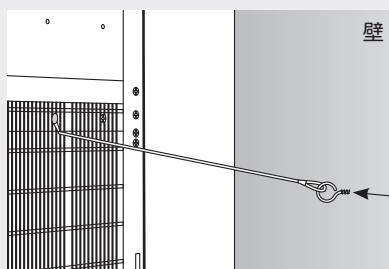
3 移動の仕方

- ① 移動する場合は本体を45°以上傾けないでください。
- ② ホルダーが外れたり、冷水・温水が出る恐れがありますので移動の際にホルダーやコックを持たないでください。



転倒防止ワイヤーの設置

地震や振動による転倒を防止するため、
ウォーターサーバー背面に付いている
ワイヤーを壁に固定してご使用ください。



初期設置の手順

〈アタッチメント 各部説明〉

手動ポンプ (水色)

ポンピングしてウォーターバックの水をタンクに給水します。

レバー (水色)

押し込むとニードル (針) が出て、引き上げるとニードル (針) が収まります。

リング差込口

ウォーターバックのリングに溝をスライドさせて取り付け・取り外しを行います。

上部ツバ

レバー (水色) を引き上げるとき、親指で支えます。
(空バック取り外し時)

下部ツバ

レバー (水色) を押し込むとき、人差し指と中指で支えます。
(ウォーターバックセット時)

レバーを下げ ニードルが出た状態

ニードル

ウォーターバックに刺さること、ここからタンクに水が入ります。

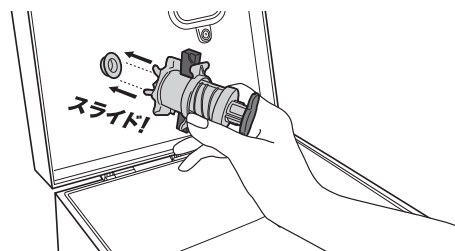
⚠ ニードル部分には手をかざさないでください。

先端
注意

初期設置の手順

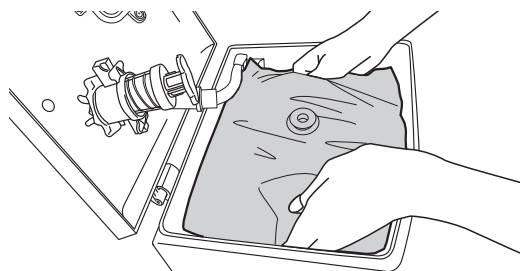
1 アタッチメントを上蓋裏に仮取り付けする

斜めにスライドさせて仮取り付けする。



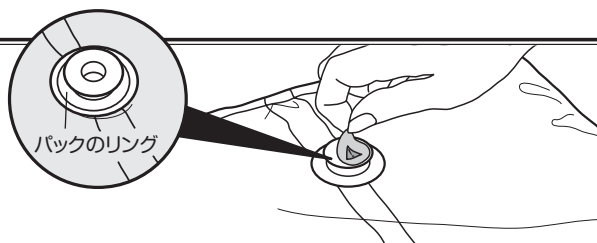
2 ウォーターバックをホルダーにセットする

リングがついている面を上にしてホルダーにセットする。



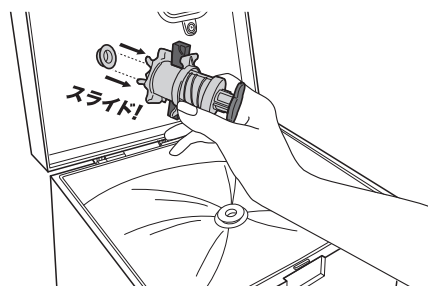
3 ウォーターバックの衛生シールをはがす

※必ずこのシールをはがしてからご使用ください。
ウォーターバックの水が出てこない場合があります。



4 アタッチメントを上蓋裏から取り外す

斜めにスライドさせて取り外してください。



5 アタッチメントをウォーターパックに取り付ける

重要

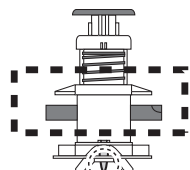
はじめに

レバーが完全に上まで上がっていることを確認する。

※ニードルが出ているとウォーターパックを傷つける恐れがあります。

×

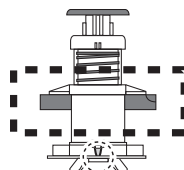
〈悪い例〉



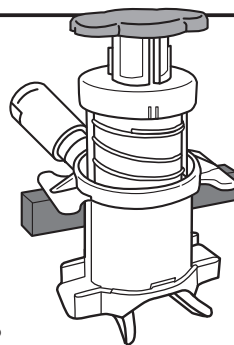
ニードルが上まで収納されきらない

○

〈良い例〉



ニードルが上まで完全に収納されている



1

リング差し込み口をスライドさせ、カチッと音がするまで差し込みます。



「カチッ!」という手応えがあり、リングが見えなくなる位まで奥に差し込んでください。

※差し込みが浅いと水漏れの可能性があります。

×

〈悪い例〉



リングが奥まで差し込まれていない

○

〈良い例〉

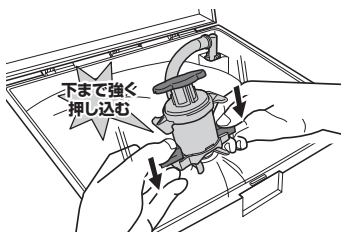


リングが奥まで差し込まれている

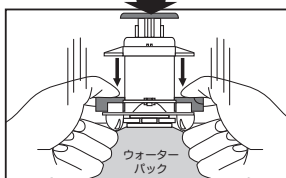
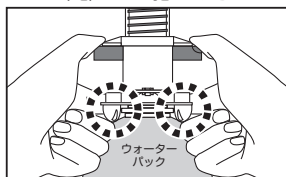
2

下部ツバに指をそえ、親指でレバー(水色)を強く押し込みます。

強く押し込み、パックに穴を開けていただきますと給水ができなくなることがあります。



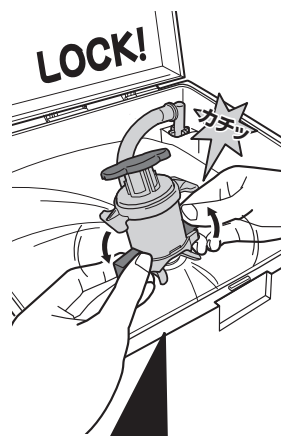
下部ツバに指をそえる



勢いよく押し込む

3

レバー(水色)を矢印方向へ回転させます。



注意!!

レバーは押し込み後、「カチッ!」という手応えがあるまで回転させてください。回転が不十分な場合には、水漏れの原因となります。

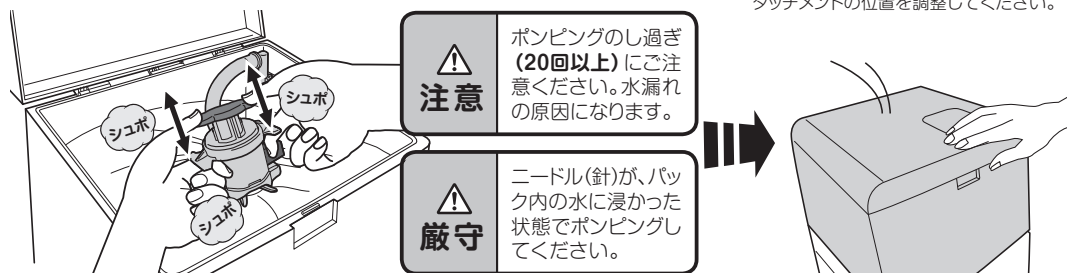
6 タンク内に水を給水する

上部ツバ(白色)に指をあて手動ポンプ(水色)で“強く”“早く”10回程度ポンピングする。

※ウォーターサーバー内に給水されていく事を確認します。

上蓋を閉める。ポンピング後、約3分で給水が完了します。

※閉めにくい場合は、ウォーターバックとアタッチメントの位置を調整してください。



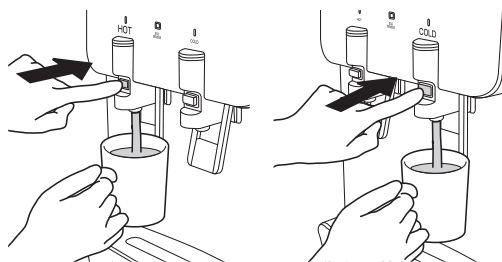
7 出水確認を行う

約3分後、冷水コックと温水コックから、コップ1杯ほど水を出す。

重要

厳守

空焚き防止のため電源を接続する前に、冷水コックと温水コックから水が出ることを必ず確認してください。



ロック解除ボタンを押しながら温水レバーを押し込むと水が出てきます。

ロック解除ボタンを押しながら冷水レバーを押し込むと水が出てきます。

**水が出にくい場合
エア抜きが必要です。**



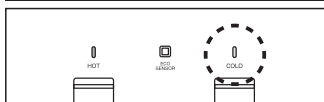
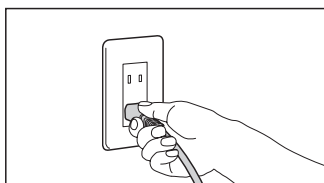
タンク内の圧力が高まっていると、水がウォーターバックから給水されない場合があります。その際は、温水側のロック解除ボタンを押しながらレバーを水が出るまで押し続けてください。

8 作動を開始させる

ECOスイッチにつきましてはP.5の⑥をご参照ください。

冷水

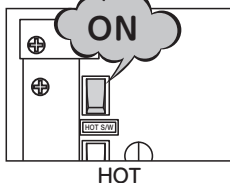
電源プラグをコンセントに差し込む



COLDランプが緑色に点灯

温水

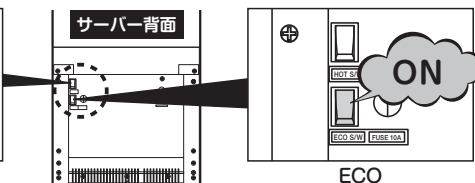
本体背面のHOTスイッチを「ON」にする



HOTランプが赤色に点灯

節電モード

本体背面のHOTスイッチを「ON」にした後ECOスイッチを押す(必要に応じて)



HOTランプがオレンジ色に点灯

約1時間で適温になりご使用いただけます。

ウォーターパック交換方法

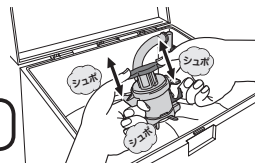
コックからお水が出なくなったらウォーターパック交換のタイミングです。
以下の手順に従ってウォーターパックの交換を行ってください。

1 ウォーターパック内の残水をできるだけ吸い込む

手動ポンプ（水色）で“強く”“早く”10回程度ポンピングする。
※サーバーの構造上、ウォーターパックには残水が200cc程度残ります。



注意 ポンピングのし過ぎ（20回以上）にご注意ください。水漏れの原因になります。

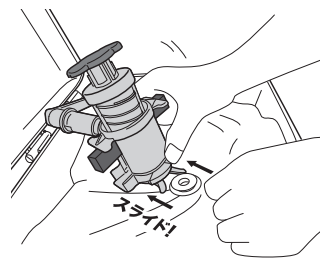
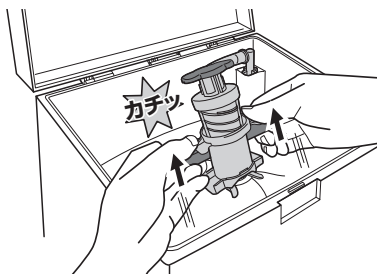
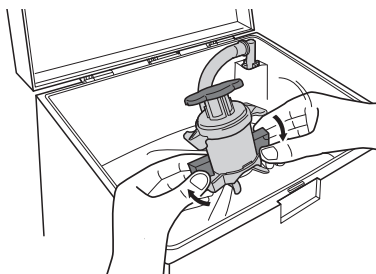


2 アタッチメントを取り外す

1 レバー（水色）を矢印方向へ回転させます。

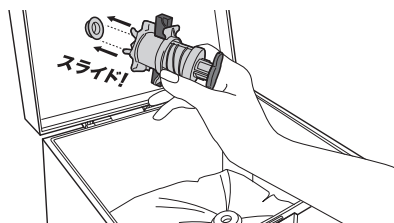
2 上部ツバに指をそえ、レバー（水色）を「カチッ」と音がするまで引き上げます。

3 空パックをスライドさせながら取り外します。

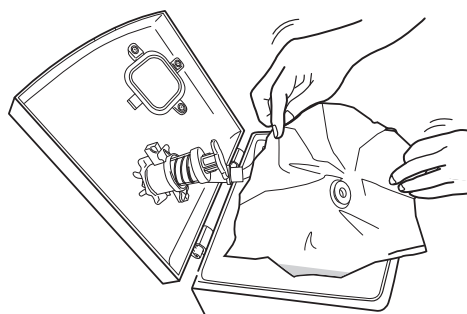


3 アタッチメントを上蓋裏に仮取り付けする

斜めにスライドさせて仮取り付けする。



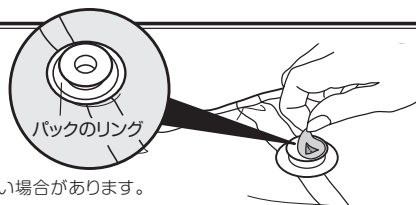
4 空パックを取り出す



アタッチメント・ニードル配管のお手入れを行ってください。（月1回程度）（▶P.12・P.13・P.14参照）

5 ウォーターパックをホルダーにセットし衛生シールをはがす

※必ずこのシールをはがしてからご使用ください。ウォーターパックの水が出てこない場合があります。



6 アタッチメントを上蓋裏から取り外す

斜めにスライドさせて取り外してください。

7 アタッチメントをウォーターパックに取り付ける

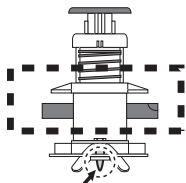
はじめに

レバーが完全に上まで上がっていることを確認する。

※ニードルが出ているとウォーターパックを傷つける恐れがあります。

✕

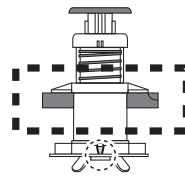
〈悪い例〉



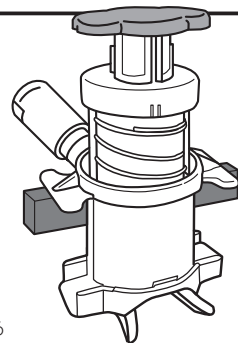
ニードルが上まで収納されきらない

○

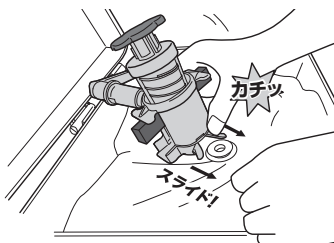
〈良い例〉



ニードルが上まで完全に収納されている



1 リング差し込み口をスライドさせ、カチッと音がするまで差し込みます。



「カチッ!」という手応えがあり、リングが見えなくなる位まで奥に差し込んでください。

※差し込みが浅いと水漏れの可能性があります。

✕

〈悪い例〉



リングが奥まで差し込まれていない

○

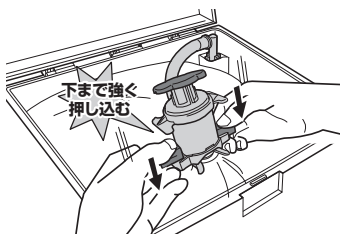
〈良い例〉



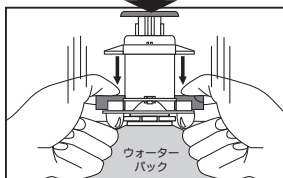
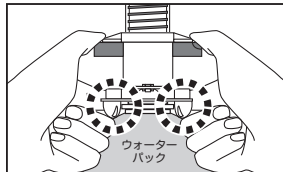
リングが奥まで差し込まれている

2 下部ツバに指をそえ、親指でレバー(水色)を強く押し込みます。

強く押し込み、パックに穴を開けていただきませんと給水ができなくなることがあります。

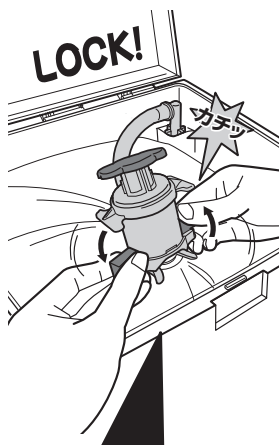


下部ツバに指をそえる



勢よく押し込む

3 レバー(水色)を矢印方向へ回転させます。



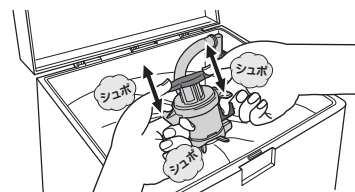
注意!!

レバーは押し込み後、「カチッ!」という手応えがあるまで回転させてください。回転が不十分な場合には、水漏れの原因となります。

8 タンク内に水を給水し上蓋を閉める

上部ツバ(白色)に指をあて手動ポンプ(水色)で“強く”“早く”10回程度ポンピングする。

※ウォーターサーバー内に給水されていく事を確認します。

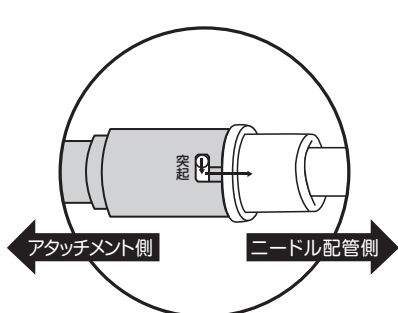


アタッチメント・ニードル 配管お手入れ方法

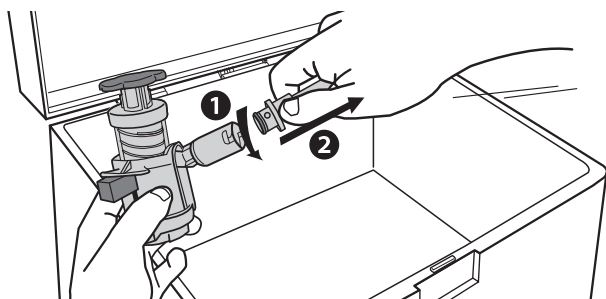
※ウォーターパックの交換に合わせて、月1回程度、必ず行ってください。

1 充分ポンピング(10回程度)を行ってから、空パックを取り出す 「ウォーターパック交換方法」の1～4を実施(▶P.10 参照)

2 アタッチメントとニードル配管を取り外す

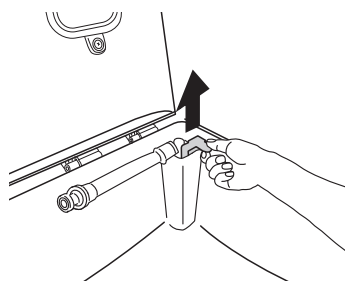


※凹凸に合わせて少しひねり引き抜く

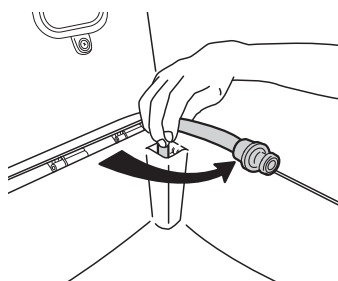


①ニードル配管を手前へ回転させる

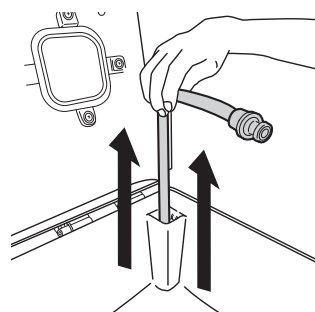
②そのまま右方向へ引き抜く



③ストッパーを取り外す

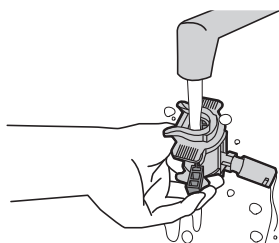


④手前に90°回転させて上に引き上げる

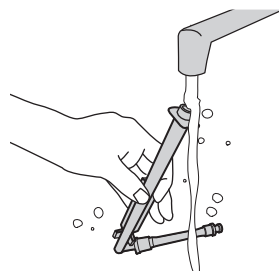


3 アタッチメントとニードル配管を水洗いする

水洗い後はしっかりと水を切り、外側をキッチンペーパーやきれいな布で軽く拭く。



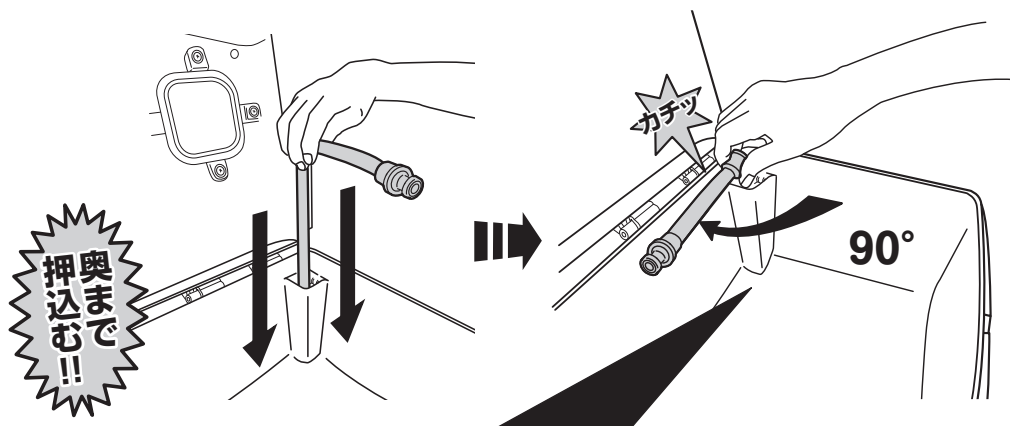
アタッチメントを上下反対に向けてニードル(針)部から配管内に水を通し水洗いする
※ニードル(針)先端部は、とがっているのご注意ください。



ニードル配管内を水洗いする

4 ニードル配管を取り付ける

ニードル配管は奥までしっかりと押し込み、「カチッ」という手応えがあるまで90°回転させる。

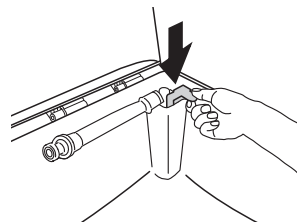


注意

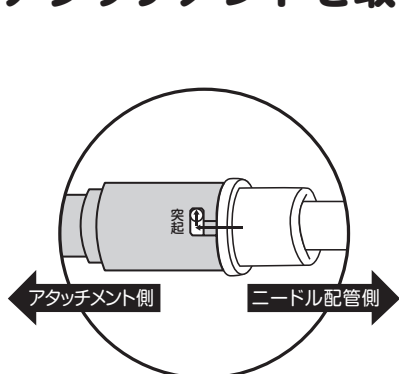
ニードル配管は必ず奥まで押し込み、「カチッ」という手応えがあるまで90°回転させてください。
ニードル配管の接続が不十分だと水漏れの原因となります。

5 ストッパーを取り付ける

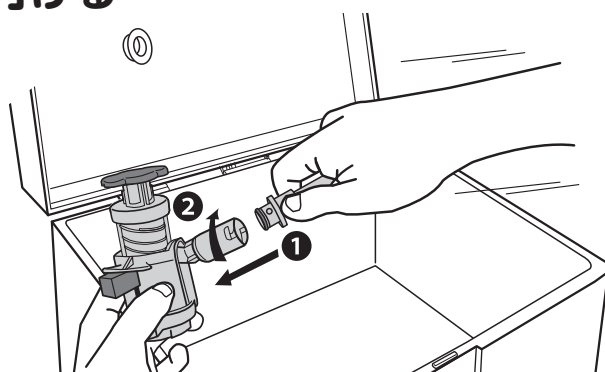
※水漏れの原因となりますので、必ず取り付けてください。



6 アタッチメントを取り付ける



※凹凸に合わせて押し込み少しひねる



① ニードル配管を押し込む

② 奥へ回転させる

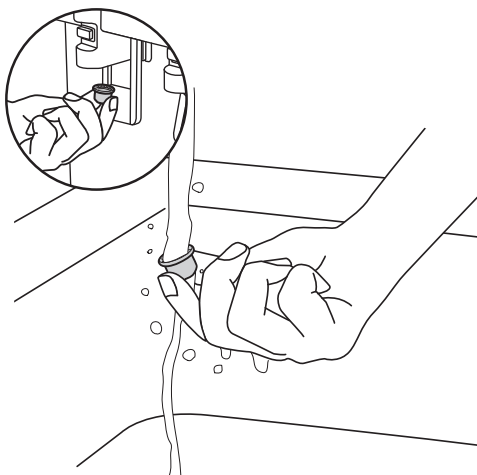
7 「初期設置の手順」1～6 を実施 (▶ P.7 ～ P.9)

日常のお手入れの仕方

※サーバー内の衛生状態を保つために、定期的に行ってください。

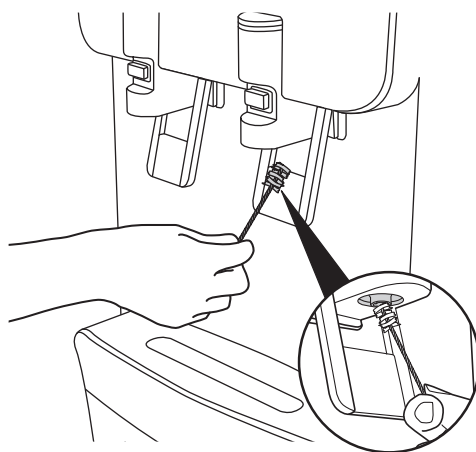
クリーンキャップ ※1週間に1回

クリーンキャップを左に回して取り外し、水洗いしてください。



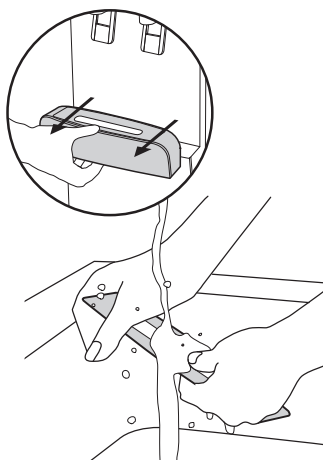
インナーノズル ※1週間に1回

ブラシや綿棒をノズルに差し込み、よごれを取り除いてください。



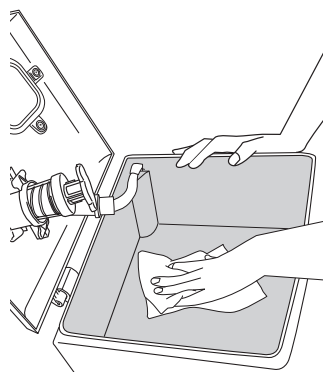
ドリフトレイ ※1週間に1回

中性洗剤で汚れを落とした後、よくすすぎ、乾いた布で拭いてください。ドリフトレイは手前に引くと取り外せます。



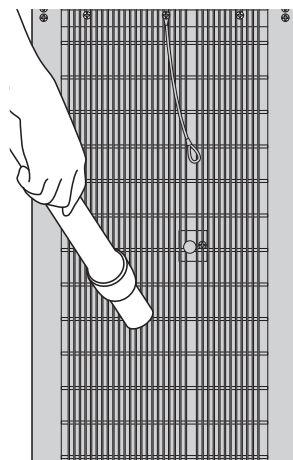
ホルダー内 ※パック交換毎に

適量にうすめた台所用中性洗剤を含ませた布で拭きとった後、水でぬらした柔らかい布をよくしぼり拭き取ります。



背面放熱部 ※半年に1回

掃除機や布で底部や放熱部に付着した、ちりやホコリを取り除いてください。

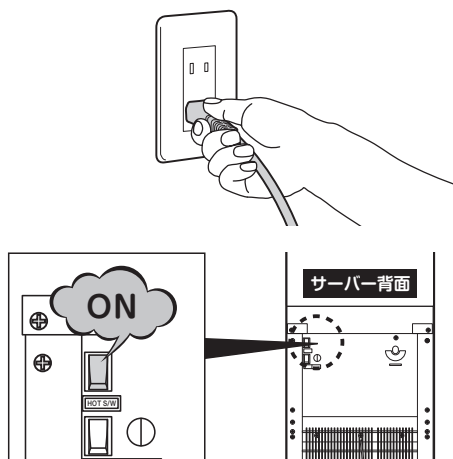


おいしく飲んでいただくために

※開封後は、14日間を目安に飲みきってください。

コンセントとHOTスイッチは 常にONに

当社の水はナチュラルミネラルウォーターです。電源を切った状態では、タンク内の水質が劣化する恐れがありますので、電源プラグは常に差し込んだ状態でご利用ください。



冷水も温水も 定期的にご利用

冷水コック・温水コックから定期的に冷水や温水を出してください。それによりタンク内の水が循環し、水質が保たれます。タンク内の水の滞留は避けてください。



冷水・温水を出すとき (チャイルドロック機能)

お子様が誤って使用しないようロックがかかっています。

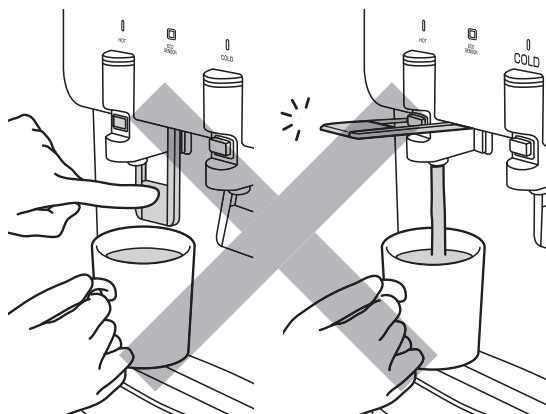
- ①ロック解除ボタンを押しながら、冷水・温水レバーを押し込むと水が出てきます。
- ②レバーを元に戻すと、ロックがはたらき、水が止まります。



※ロックがかかっても、熱湯の滴がおちることがあります。お子様がコックやレバーに触らないよう十分ご注意ください。

冷水レバー 温水レバー

- ①手でレバーを押すと、火傷のおそれがありますので、カップや容器で押してください。
- ②冷水レバー、温水レバーは手前に引上げて使用しないでください。



※ドリップトレイ(受皿)の上に、コップなどを置かず手に持ってください。

おいしく飲んでいただくために

長期間(2週間以上)使用しない時や引越しの時

- 1 HOTスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、3時間ほど放置してください。(熱湯でヤケドの恐れがありますので温水の温度が下がるのを待ちます)
- 2 「ウォーターパック交換方法」(▶P.10)に従って、ウォーターパックを取り外します。
- 3 冷水レバーを押して冷水タンクの水を排水します(最大約4L)。
- 4 アタッチメントとニードル配管を取り外して水洗いし、自然乾燥します。
※「アタッチメント・ニードル配管お手入れ方法」(▶P.12)の手順2.3参照
- 5 サーバー背面の排水キャップ(黄色)を外し、温水タンク内の水を排水します。
(サーバー内の残量によっては、勢いよく遠くまで温水が飛び出す場合があります(最大約2L))

排水キャップ(黄色)

ヤケド注意

水が抜けきった後に排水キャップ(黄色)を緩みなく取り付けてください。

ホルダーを持たず本体を10°くらい傾けてください。
- 6 製品各部に残っている水気を完全に拭き取ってください。
(水気が残っていると悪臭やサビの原因になります)
- 7 アタッチメントとニードル配管を取り付けて、ほこりなどつかないようにサーバー本体にビニール袋等を被せておいてください。
- 8 再使用する時は、「初期設置の手順」(▶P.6~9)に従ってウォーターパックを設置してください。

仕様／故障かな？と思ったら

仕様

卓上タイプ (S)

製品		冷温水器
温度調整機		自動
定格		100V, 50~60Hz
型式		WFD-1040S
外形寸法	本体 (mm)	300 (W)×340 (D)×775 (H)
	外箱 (mm)	310 (W)×370 (D)×830 (H)
重量	本体 (kg)	15.1kg
	外箱 (kg)	16.5kg
消費電力		80W / 350W
温度範囲	冷水	3.5~8.0℃
	温水	80~85℃
容量	冷水タンク	3.8L
	温水タンク	1.3L
ヒューズ		125V, 10A
安全装置		BIMETAL
冷媒		R-134a
冷媒量		28g

床置タイプ (L)

製品		冷温水器
温度調整機		自動
定格		100V, 50~60Hz
型式		WFD-1040
外形寸法	本体 (mm)	300 (W)×340 (D)×1225 (H)
	外箱 (mm)	310 (W)×370 (D)×1280 (H)
重量	本体 (kg)	18.1kg
	外箱 (kg)	20.2kg
消費電力		80W / 350W
温度範囲	冷水	3.5~8.0℃
	温水	80~85℃
容量	冷水タンク	3.8L
	温水タンク	1.8L
ヒューズ		125V, 10A
安全装置		BIMETAL
冷媒		R-134a
冷媒量		28g

故障かな？と思ったら

症 状	確 認	処 置
冷水・温水が出ない (出が悪い)	ウォーターバックが空になっていませんか？	新しいウォーターバックに交換してください。
	ウォーターバックを取り付けた際にボンピングを行いましたか？	ボンピングを10回程度行ってください。
	ニードル配管が濡れたりねじれたりしていませんか？	ニードル配管を正常に戻してください。
	コックのチャイルドロックの解除を忘れていませんか？	チャイルドロックを解除してください。
冷水が冷えない	電源プラグが抜けていませんか？ (COLDランプが消灯していませんか？)	電源プラグを入れて1時間程お待ちください。
	ストーブやガス機器または、直射日光が当たる場所に設置されていませんか？	涼しい場所に設置してください。
	サーバーの側面・背面の通気が悪くなるような場所に設置されていませんか？	サーバーの側面・背面は5cm以上スペースを空けてください。
温水が熱くならない	背面の「HOTスイッチ」がOFFになっていませんか？ (HOTランプが消灯していませんか？)	背面の「HOTスイッチ」をONにして1時間程お待ちください。
	初回の場合、ウォーターバック取り付け前に「HOTスイッチ」をONにしましたか？	空焚き防止機能働いている可能性があるため、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
「ブーン」という音がする		冷却中のコンプレッサーの作動音ですので異常ではありません。
「カチッ」という音がする		温水ヒーターの作動音ですので異常ではありません。
初回設置時に煙が出てきた	初回の場合、ウォーターバック取り付け前に「HOTスイッチ」をONにしましたか？	空焚き防止機能働いている可能性があるため、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

MEMO

